

平成30年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成30年6月19日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

日程第 1 議第47号 平成30年度竜王町一般会計補正予算（第1号）

（予算決算常任委員会委員長報告）

日程第 2 議会広報特別委員会委員長報告

日程第 3 地域活性化特別委員会委員長報告

日程第 4 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

日程第 5 議員派遣について

日程第 6 委員会の閉会中の継続調査の申出について

2 会議に出席した議員（12名）

1番	菱田三男	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	貴多正幸	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
副町長	杼木栄司	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監兼 発達支援課長	嶋林さちこ	産業建設主監	井口和人
主監心得兼 未来創造課長	奥浩市	会計管理者	西川良浩
総務課長	川嶋正明	税務課長	寺嶋要
生活安全課長	関司明德	住民課長	森岡道友
福祉課長	間宮泰樹	健康推進課長	中原江理
農業振興課長	井口清幸	商工観光課長	岩田宏之
建設計画課長	森徳男	上下水道課長	込山佳寛
農業委員会事務局長	白川賢治	教育次長兼 生涯学習課長	田邊正俊
教育総務課長心得	町田啓司	学校教育課長	武久雅則

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	奥智子
--------	------	----	-----

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより、平成30年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより、本日の会議を開きます。

皆さんのお手元に、株式会社みらいパーク竜王の事業報告、経営状況等を説明する書類を配付いたしましたので、よろしく願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 1 議第 47号 平成30年度竜王町一般会計補正予算（第1号）**

**（予算決算常任委員会委員長報告）**

○議長（小森重剛） 日程第1 議第47号、平成30年度竜王町一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

本案は、予算決算常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長、松浦 博議員。

7番、松浦 博議員。

○予算決算常任委員会委員長（松浦 博） 議第47号、予算決算常任委員会報告。

平成30年6月19日

委員長 松浦 博

去る6月8日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました、議第47号、平成30年度竜王町一般会計補正予算（第1号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、6月12日午前9時より301会議室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、西田町長、関係主監及び教育次長をはじめ、関係職員等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

議第47号、平成30年度竜王町一般会計補正予算（第1号）は、既決の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3,315万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ55億5,615万6,000円に改めるものです。

主な質疑応答は、問）町道道路改良において、町道東西線の工事区間は。また、

工事舗装については当初予算で計画すべきではないか。

答) 当初予算では、町道山面鏡西線の延長として400メートルを予定していましたが、交付金の内示率がよかったため、次年度に予定していた町道東西線100メートルを追加しました。区間は、川守地先の主要地方道近江八幡竜王線の交差点から西方向へ約100メートル予定しています。

問) 橋梁長寿命化修繕工事に関連して、耐震化の進め方、補強に対して、該当となる場所はどこにあるのか。また、今後の耐震対策はどのように進めるのか。

答) 町内橋梁は、平成26年度の点検では117橋あり、設置された年代により構造の基準がさまざまなことから、全ての橋梁を現在の耐震基準に合うよう補強や更新することは、大変困難な状況であります。

緊急輸送道路で耐震化の対象となる橋梁は竜王大橋ですが、まずは、延命措置により、橋梁の本来の機能に戻す長寿命化への修繕を実施しています。

問) 町道中央通線を県道に格上げするため、県に対して要望しているのか。

答) 今日まで県道への格上げ要請を口頭で行っています。県は、町道に格上げする分、どこかの県道と振り替えるよう言っていますが、現在、そのような所はないため、粘り強く格上げの要望をしているところです。

問) 小中学校の特殊建築物の定期調査報告は、法に基づき実施されているが、3年前に指摘があった全てを直せていないとのことであるが、全てを直さなくてもよいのか。また、今回は、県が指摘している全てを直すことができる予算なのか。

答) 県担当者と直接話をしている中では、このように繰り返し指摘をすることで、直していくのが一般的であると答えをもらっています。今回は、指摘のあった全てを直すための予算です。

問) 幼稚園は、特殊建築物には該当しないものの、同じ教育施設であるため、幼稚園も調査する必要があるのではないか。

答) 幼稚園は、法的には特殊建築物に該当していないものの、同じように耐震診断や天井等の落下物については文部科学省から通知があり、特殊建築物と同様に確認調査をしており、安全であることを把握しています。

問) 小中学校の増築物置、仮設物置の敷地面積はどのくらいか。また、物置の配置が不適切なのか。

答) 面積の詳細は把握していませんが、基本的に10平方メートルまでの小さな物置です。

竜王西小学校は、置くタイプのプレハブ物置が指摘されています。指摘の内容は、基礎のブロックと連結されていない、または、アンカーが入っていないという指摘と、耐火になっていない構造物を学校のそばに置くと延焼するため、物置の設置場所に関しての指摘です。

中学校でも同様に、防火の延焼ラインが決まっており、設置場所を指摘されています。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で、議第47号は原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（小森重剛）** ただいま、予算決算常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第1 議第47号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第47号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 2 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第2 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、内山英作議員。

6番、内山英作議員。

○議会広報特別委員会委員長（内山英作） 議会広報特別委員会報告。

平成30年6月19日

委員長 内山 英作

本委員会は、平成30年第1回定例会閉会後の3月30日、4月6日、12日、18日に委員会を開催し、議会だより183号の編集作業を行い、5月1日に発行しました。

次に、本委員会は、5月8日、岡山県津山市議会広報調査特別委員会から議会広報編集に関する視察研修を受け入れ、記事の編集方法、課題等活発な意見交換を行いました。

次に、本委員会は、本定例会中の6月8日午前11時から、委員全員出席のもと委員会を開催し、編集に係る課題についての協議を行い、議会だより184号について掲載記事の概要検討、役割分担及び編集日程を決定しました。

なお、編集のための委員会は、定例会閉会後の6月29日、7月5日、18日の3日間開催することにしました。

また、福井県大野市議会から議会広報編集に関する視察研修の申し入れがあり、6月28日に本委員会で受け入れることに決定しました。

最後に、7月10日に全国町村議会広報研修会に出席し、広報クリニックを受け、翌11日に埼玉県寄居町議会で、住民に親しみやすい議会広報紙作成のポイントなどについての視察研修を実施することに決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告と致します。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第3 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、貴多正幸議員。

9番、貴多正幸議員。

○地域活性化特別委員会委員長（貴多正幸） 地域活性化特別委員会報告。

平成30年6月19日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、6月12日午前10時30分より、委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、井口産業建設主監及び関係課長等の出席を求め、調査を行いました。

(1) 滋賀竜王工業団地の進捗状況について。

土地の引き渡しに必要な工事については全て完了しているが、竜王町が実施する工業団地整備事業の付帯工事については、早期に完了するよう引き続き進捗管理や関係機関との調整を行っていくとの説明を受けました。

また、企業の誘致状況については、4号地の土地売買契約が進出企業と県土地開発公社との間で締結され、これを弾みに、本町産業の活性化に資する企業の誘致を推進していくとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 上水道管布設替工事のため、多目的広場付近の祖父川左岸道路を通行止めになっているが、いつ開放するのか。

答) 上水道管布設工事は6月末で完了し、7月上旬に県土地開発公社が完了検査を行い、その後、町が引き継ぎを受けて開放します。

(2) 株式会社雪国まいたけ工業団地の進捗状況について。

3月定例会以降の株式会社雪国まいたけと町との協議の経過報告、及び企業誘致の状況等について説明を受けました。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

○議長(小森重剛) ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第4 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、小西久次議員。

2番、小西久次議員。

○議会運営委員会委員長（小西久次） 議会運営委員会報告。

平成30年6月19日

委員長 小西 久次

本委員会は、4月16日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成30年第2回定例会について協議し、日程案を作成しました。また、議会報告会の開催について協議しました。

次に5月24日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より杼木副町長、山添総務主監、川嶋総務課長他、担当職員の出席を求め、平成30年第2回定例会の提案事件について執行部より説明を受けました。

今回提案される案件は、専決処分2件、条例改正2件、補正予算1件、その他1件、報告事項1件の計7件です。

次に、議会広報特別委員会委員の辞任と選任については、追加日程とすることに決定しました。

次に、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を6月1日から6月19日までの19日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

また、各委員会委員長より所管事務調査等の予定について報告を受けた後、議会報告会の詳細な協議を行い、8月20日に開催することを決定しました。

次に、本委員会は、6月5日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成30年第2回定例会第3日の一般質問、10議員15質問について、会議の再開時間及び質問の順序等を審査決定しました。

第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順とすることに決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成30年6月19日

委員長 古株 克彦

本委員会は、6月11日午後1時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、西田町長、山添総務主監、奥主監心得兼未来創造課長、凶司生活安全課長及び関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

1、地域防災情報システムの整備概要について。

(1) 電波伝搬調査の現地調査結果について。

屋外拡声子局についての出力1ワットによる町内47地点の電波測定状況は、一部を除いて受信可能域に入っている。戸別受信機は、屋内アンテナ・屋外アンテナで受信可能域である。

(2) システムの構成について。

情報伝達手段として、防災行政無線の戸別受信機に加えて、地区放送機能の実現が必要である。

防災行政無線システムとの連動性と汎用性を考慮し、1、エリアメール連携、2、緊急速報メール連携、3、SNS連携等、携帯電話・スマートフォン等を活用した情報伝達方法を進める。

(3) システムの配置について。

竜王町防災センター2階に無線室を設置して、戸別受信機による屋内放送、屋外拡声子局による屋外放送を行う。

(4) 整備スケジュールについて。

本年度中に実施設計を実施し、2019年度から2020年度にかけて整備し、2021年度から運用開始する。

主な質疑応答として、

問) システム整備に係る財源は基金での対応か、起債で対応するのか。

答) 東日本大震災以降、緊急防災・減災事業債の起債ができるため、起債で対応し、後年度の返済を行います。必要な経費への充当率は100%であるため、起債にて整備する考えです。

2、公共交通利用促進事業の中間報告について。

通学定期半額補助の利用状況は、4月には46名、5月には53名の申請があり、夜間特別便の利用は、延べ106名との報告があった。

昨年4月の定期券利用者は26人で、5月は27人であり、昨年と比較すると、利用者は増加した。

主な質疑応答。

問) 通学時間帯にバスの運行が少ない。バスの運行ダイヤの変更は検討できないか。

答) 委託業務の中で京都大学とタイアップしながら、実態を踏まえ検証しています。秋にも、時間帯での乗降調査をしながら調査研究をしていきたいと考えています。

ただ、バス会社は乗務員不足という課題があり、この課題も含めて検討を加えていきます。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

10番、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成30年6月19日

委員長 山田 義明

本委員会は、6月11日午前9時より第1委員会室で、執行部より西田町長、嶋林住民福祉主監、間宮福祉課長、中原健康推進課長他担当職員の出席を求め、所管事務調査を実施しました。

所管事務調査。

1、高齢者福祉について（主に介護保険サービス利用状況と提供事業所について）。

本町における高齢者の現状は、本年4月末の時点で、65歳以上の高齢者数は3,182人であり、全人口1万2,092人に対して26.3%の割合となっている。このうち、要介護・要支援認定者数は534人で、認定率は約16%となっている。

また、介護保険サービスの施設サービスと在宅サービスは県が、地域密着型サービスは市町村が指定・監督を行っている。なお、要介護認定度によって、利用できるサービスや1カ月の支給限度額に違いがある。

次に、町内で介護サービスを提供する事業所は13法人で、施設サービスが2施設、在宅サービスが11施設、地域密着型サービスが7施設、居宅介護支援事業所が7施設あり、各施設のサービス内容やサービスの費用負担等について説明を受けた。

主な質疑応答。

問) 特別養護老人ホーム「万葉の里」への入所を希望される方が多く、入所待

機者が多いと聞いているが、現状はどうか。

答) 現在、入所待機者は190人おられると聞いています。入所の判定基準は、家族の状況等に加え、地域得点が加算され、入所の順序を決定しています。申し込み順で入所するものではありません。

多くの入所待機者があるため、第7期介護保険事業計画を注視しながら、第8期のときに特別養護老人ホームを創設するか、検討したいと考えています。

問) 介護療養型医療施設については、医療行為をしてもらった場合、医療保険なのか、介護保険なのかは、誰が判断するのか。

答) 診療報酬と介護報酬の基準に従い、医師の判断となります。

問) 地域の公民館を活用し、介護施設として併設しているところはあるのか。

答) 全国では、地域密着サービスや総合事業の中で市町がメニューを作って提供したサービスを、公民館などの公共施設で提供されている事例もあります。

2、社会福祉法人 雪野会「ケアセンター蒲生野」の視察について。

本委員会は、午前11時より委員全員のほか関係者の参加のもと、「ケアセンター蒲生野」を訪れ、施設の説明を受けた後、施設内を視察しました。

施設の概要。

1階には通所リハビリテーションがあり、家庭での生活を基盤に、機能訓練、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスの実施をされています。1階の定員は35名となっています。

2階では、医療ケアを必要とされる方を対象として、医療ケアと生活サービスを併せて提供されていますが、現実には、特別養護老人ホームの入所待機者が多く占める傾向です。

また、短期入所での看護・医学的管理のもとで、介護や機能訓練等を通して、利用者の自発的活動の促進に努められています。2階の定員は50名となっています。

次に、療養棟の状況でございます。

平成29年度のケアセンターの年間稼働率は94.4%で、在宅復帰率は19.1%でした。

利用実績では、入所の1日平均は43.5名、短期入所は3.7名でした。

入所申込者は99名で、地域別に見ると、東近江市からの申し込みが60名、日野町が22名、竜王町が9名、その他が8名という結果でした。

以上、教育民生常任委員会の所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいま、各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで
終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議員派遣について

○議長（小森重剛） 日程第5 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することに  
いたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定  
いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いた  
しました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくよ  
うお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 委員会の閉会中の継続調査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第6 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題
といたします。

各委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元に配付いたしました
とおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査をすることに御異議ありませ
んか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長からの申し
出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたし
ます。

西田町長。

○町長（西田秀治） 平成30年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、去る6月1日から19日までの19日間にわたりまして慎重なる御審議を賜り、提案させていただきました議案に対しまして、全ての議案を可決いただきましたことに、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

また、各委員会の場合や一般質問におきまして、議員各位から学校園の危機管理体制の強化や通学路の安全確保、地域ぐるみで子どもを見守り育てていく居場所づくり、竜王農業の振興、空き家対策、河川の整備点検など、多岐にわたっていただきました御意見、御指摘等につきましては、その対応に十分留意して、今後の町政運営に当たってまいり所存でございます。今後とも、格段の御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨日、早朝、大阪府北部を震源とした地震が発生し、本町におきましては震度4を記録いたしました。町といたしまして迅速に警戒体制をとり、被害等調査を行いました。昨夕時点で、本町における被害の情報はないとのことでございます。いつ起こるかかわからない災害に対して、日ごろからの備え、また、適切な対応を行うための体制整備等に努めているところでございますが、地震をはじめ、今後、梅雨時期の大雨、台風等の災害にも十分備えていく必要があると再認識しているところでございます。

さて、今後の予定に関しまして、1件御紹介をさせていただきます。

本年度は、姉妹都市提携を結んでおります、アメリカ合衆国ミシガン州スー・セイ・マリー市が市制350周年を迎えられたところでございます。今回、市制350周年の記念式典が開催されるに当たり、式典への招待を受けましたので、私を含め10名で使節団を編成し、7月25日から8月1日までの8日間の日程で表敬訪問してまいります。

提携を結んでから44年目を迎える今日まで、双方の使節団が幾度となく行き来し、友好親善に努めてきた歴史を踏まえ、使節団の団長として、当市の記念すべき式典でお祝いのメッセージを届けてまいりたいと思います。

さて、6月23日をもちまして、町長に就任して2年が経過し、任期の折り返しとなるところでございます。町長就任時に申し上げました5つの施策を着実に実行していくため、重点施策プロジェクトについて、ロードマップを確認しながら引き続き計画的な推進を図ってまいりたいと考えております。

また、いま一度、気を引き締め、町民の皆様と対話の機会をもちながら、職務の遂行に邁進してまいります。

結びに、まだまだ梅雨の季節が続きますが、議員の皆様におかれましては、健康にくれぐれも御留意いただき、引き続き本町の発展のために御活躍いただきますよう御祈念申し上げまして、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

○議長（小森重剛） 閉会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

今期定例会は、去る6月1日に招集され、本日までの19日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な案件につきまして慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。また、執行部におかれましては、この間、適切な対応をしていただき、ありがとうございました。議員各位、並びに執行部各位の御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

本会議、並びに委員会において、各議員から述べられました意見や要望事項につきましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いをする次第でございます。

昨日は早朝より、大阪北部を震源とする震度6弱、竜王町は震度4の地震が発生いたしました。ニュースでは、ブロック壁の下敷きになり犠牲となられた方、また、火災、生活インフラ等に大きな被害をもたらしました。

我々は、常日ごろから災害に対して、避難訓練や持ち物等の点検をしておりますが、いま一度、改めて自然災害への意識と行動ができる我々でありたいと思っております。

さて、滋賀竜王工業団地内では、6月1日に、東洋電機製造株式会社滋賀竜王製作所が本稼働され、また、小口地先では、共同住宅の建設が開始されようとしています。

また、昨年度から進められています重点施策プロジェクトについても、西田町長が今日まで言ってこられた、みずからの経験と人脈の種がいよいよ実をつけはじめ、着実に住民へ見える化、伝わるよう期待するものであります。

職員におかれましては、みずからが考え出され実行されています、「すまいる接客アクションプラン」に掲げられている、「笑顔と、大きな声であいさつ」、「スピーディで親切、プライバシーに配慮した適切な対応、安心のサービス」、「風とおしのよい職場づくり」など職員が住民に安心・信頼してもらえるサービ

スで、より一層住み続けたい、住みたい竜王町につながることを願うものです。

また、町内におきましては、各種団体の総会が終わり一段落し、いよいよ計画されています事業が本格的に稼働いたします。町としても、7月には総合体育大会、文月発表会、平和祈念式典が開催される予定です。この数々の催しが、竜王町独自の催しとなり、「よかったなあ、また参加したい」と住民が思うような創意工夫と啓発活動を願うものであります。

梅雨本番から、いよいよ本格的な夏を迎えることとなります。議員各位、並びに執行部におかれましては、くれぐれもお身体には御自愛いただき、町政の振興発展のために、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成30年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦勞さまでございました。

閉会 午後1時45分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 岡 山 富 男

議会議員 菱 田 三 男